

製品名: CD338 マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM82605**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,IHC,ICC,ELISA,FC
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG2b
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:200-1:1000,ICC 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	75kDa

抗原情報

遺伝子名	CD338
別名	MRX; MXR; ABCP; BCRP; BMDP; MXR1; ABC15; BCRP1; ABCG2; GOUT1; MXR-1; CDw338; UAQTL1; EST157481
遺伝子 ID	9429.0
SwissProt ID	Q9UNQ0
免疫原	大腸菌で発現したヒト CD338 (AA: 追加ミックス) の精製された組み換え断片。

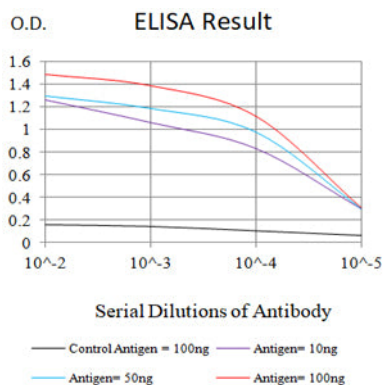
背景

この遺伝子によってコードされる膜関連タンパク質は、ATP 結合カセット (ABC) トランスポーターのスーパーファミリーに含まれ

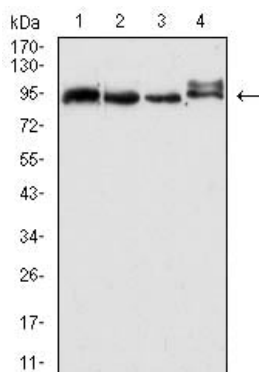
る。ABC タンパク質は、細胞外膜および細胞内膜を越えて様々な分子を輸送する。ABC 遺伝子は、7つの異なるサブファミリー (ABC1、MDR/TAP、MRP、ALD、OABP、GCN20、White) に分類される。このタンパク質は White サブファミリーのメンバーである。乳がん耐性タンパク質とも呼ばれるこのタンパク質は、異物トランスポーターとして機能し、多剤耐性において重要な役割を果たす可能性がある。ミトキサントロンおよびアントラサイクリンへの曝露に対する細胞防御機構として機能する可能性が高い。このタンパク質は胎盤で顕著に発現していることが観察されており、胎盤組織においてこの分子が何らかの役割を果たしている可能性があることを示唆している。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする複数の転写産物バリエーションが見つかった。

研究分野

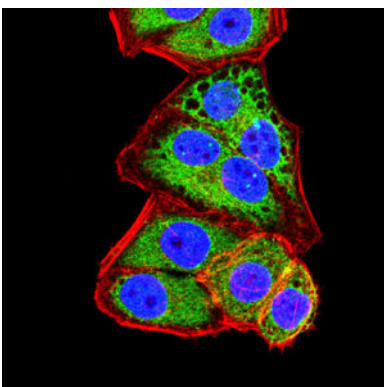
画像データ



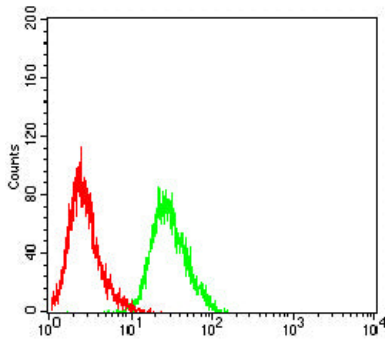
黒線: コントロール抗原 (100 ng) ; 紫線: 抗原 (10 ng) ; 青線: 抗原 (50 ng) ; 赤線: 抗原 (100 ng)



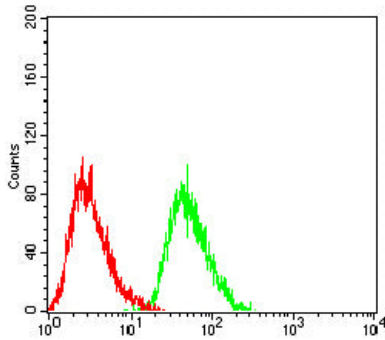
A549 (1)、HePG2 (2)、Hela (3)、および NIH/3T3 (4) 細胞溶解物に対する CD338 マウス mAb を使用したウエスタンブロット分析。



CD338 マウス mAb (緑) を用いた Hela 細胞の免疫蛍光染色。青: DRAQ5 蛍光 DNA 色素。赤: Alexa Fluor-555 ファロイジンで標識されたアクチンフィラメント。



CD338 マウス mAb (緑) とネガティブ コントロール (赤) を使用した HeLa 細胞のフローサイトメトリー分析。



CD338 マウス mAb (緑) とネガティブ コントロール (赤) を使用した HePG2 細胞のフローサイトメトリー分析。